

安全で快適な漁労作業を実現するための研究

— サケ定置網漁業における選別作業の労働負荷分析 —

漁業生産工学部

研究の背景・目的

漁業者の高齢化や後継者不足が深刻化している。高齢者でも無理なく働けて、さらに若者が魅力を感じるような、安全で快適な労働環境を実現するための研究が必要である。

研究成果

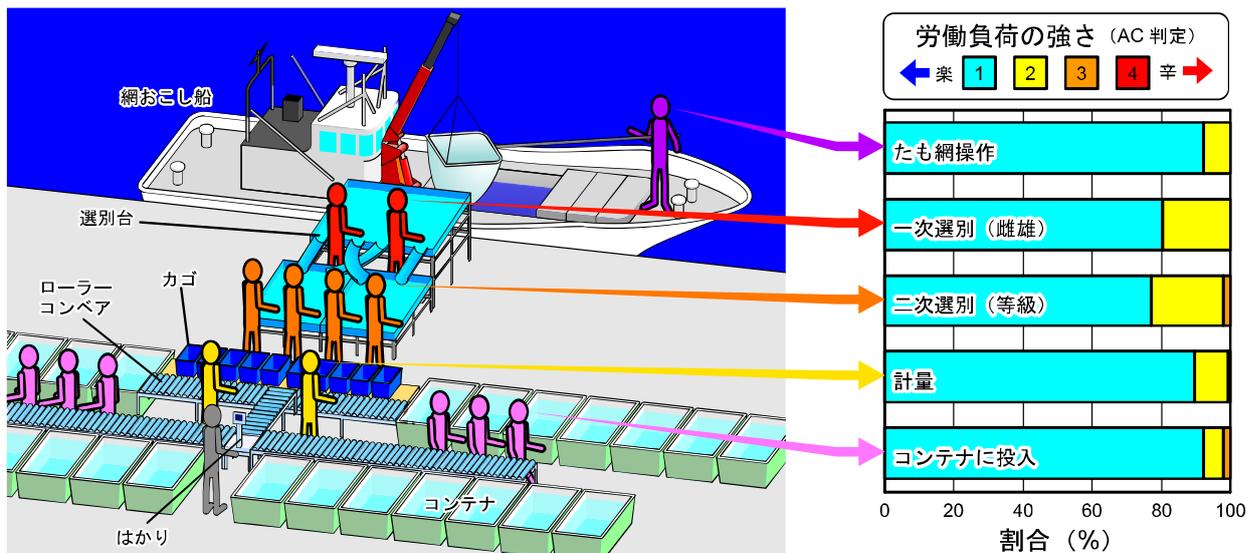
北海道・野付漁協のサケ定置網漁業を対象として、岸壁での選別作業時の労働負荷を作業姿勢分析(OVAS法)を用いて評価した。結果、労働負荷は概ね適正な範囲であった。選別台等の作業内容にマッチした設備を活用して適正な作業姿勢を確保している様子が伺われた。

波及効果

1. 漁業の労働実態が明らかになるとともに、改善すべき作業を見つけ出すことができる。
2. 他地域や他種の漁業、あるいは他産業等との比較を通じて改善方策を検討できる。



たも網操作 → 一次選別(雌雄) → 二次選別(等級) → 計量 → コンテナに投入



(機械化研究室・高橋秀行;水産土木工学部・佐伯公康;水産情報工学部・渡辺一俊;漁法研究室・長谷川誠三)